

在宅医療・介護多職種連携協議会 啓発・広報部会

～報告～

目 的

在宅医療・介護に係る市民啓発について検討する。

- 市民啓発推進の検討
- 在宅情報紙わがやの発行
- その他在宅医療に関する啓発関係の検討



1. 令和2年度啓発・広報部会 実施状況

内 容	
第1回部会 書面会議 9月11日～27日	<ol style="list-style-type: none">1 概要と体制2 令和元年度 部会実施状況3 令和元年度 地域啓発活動報告4 在宅医療情報紙『わがや』16号発行報告5 新規事業その後：『オヤジ★イノベーション2020』6 令和元年度 在宅医療認知度アンケート報告7 在宅医療情報紙『わがや』17号への掲載内容（議事）8 コロナ禍でもできる地域啓発活動へのご提案（議事）
第2回部会 書面会議 1月18日～27日	<ol style="list-style-type: none">1 在宅医療情報紙『わがや』17号の掲載内容について（議事）2 在宅医療情報紙『わがや』16号アンケート報告3 令和2年度 地域啓発活動実施報告4 『オヤジ★イノベーション2021』での啓発活動報告5 令和2年度 在宅医療認知度アンケート報告

2. 在宅医療情報紙 わがや 16号・17号の発行



16号テーマ：わがやくんによる「わがや」特集
 17号テーマ：“コロナ”でも負けない！ 柏の在宅医療

わがやでは、部会員以外の皆様にも取材にご協力いただきました。ありがとうございます。

16号 (9/1発行)

- 19100枚発行
- 配布場所
 ポスティング
 市の関係窓口
 小中学校全児童
 ・生徒へ配布
 など



主な記事

[16号]

わがやくんによる、過去の「わがや」を紹介。

- ・あらためて「わがや」について紹介。
- ・記念すべき第1号「住み慣れたわが家で最期を迎えるには…」
- ・在宅医療のリアルヴォイス！ドクターの1日
- ・若い世代の在宅医療を特集
- ・費用ってどのくらい？

17号 (3/1発行)

- 19100枚発行
- 配布場所
 ポスティング
 市の関係窓口
 小中学校全児童
 ・生徒へ配布
 など



[17号]

新型コロナウイルス感染症流行の中で頑張る、柏の在宅医療の現場から様子や声を紹介。

- ・在宅医療最前線！感染予防しながら頑張っています!!
- ・みんなで“コロナ”を乗り越えよう！

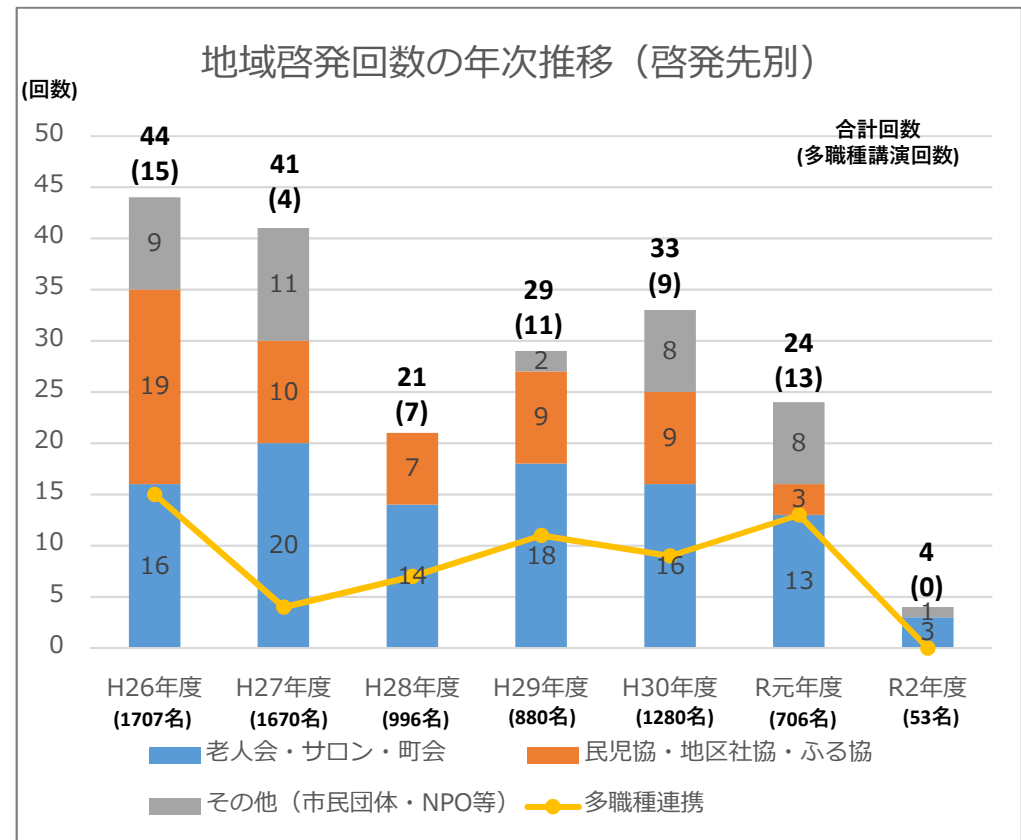
3. 地域啓発活動実施報告

① 出前講座

■ 新しい生活様式を取り入れた出前講座を実施しました

対 象	回 数 (他職種講演回数)	参加人数 * 延数
老人会・サロン・町会など	3(0)	43
民児協・地区社協・ふる協	0(0)	0
その他 (市民団体, NPO等)	1(0)	10
合 計	4(0)	53

(令和3年3月3日時点)



《今年度の活動》

- 新型コロナの緊急事態宣言解除後 (5月25日以降)から申込再開
- 3密回避の為, 1回の参加者数を制限
事前の感染予防チェックリスト活用
- 新型コロナの影響でキャンセル多数 (10件)



■ 部会からのご意見を踏まえ,
オンライン対応へ

3. 地域啓発活動実施報告

②新しい取り組み

■コロナ禍の中，実施回数は少ないながらも**新しい取り組み**を模索しました。

1. 出前講座時に在宅医療啓発動画を活用

- 参加者より「分かりやすかった，よく理解できた」との多くの感想をいただいた。
- 具体的な質問が増え，在宅医療についての活発な意見交換の場にもつながった。

2. 「わたしの望みノート活用講座」とのコラボ啓発の実施

- 柏市地区社協講師の「わたしの望みノート活用講座」の参加者へ，在宅医療について啓発。
- 終活に取り組もうとしているかたへのアプローチ**となった。
 - ・療養場所の選択肢の一つとして，在宅医療を紹介する事ができた。
 - ・意思決定（ACP）の啓発につながった。

③今後の展開

■部会からのご意見を踏まえ，在宅医療啓発動画30秒バージョンを用いた，**デジタルサイネージの活用**について検討しました。

※デジタルサイネージとは：

表示と通信にデジタル技術を活用してディスプレイやプロジェクターなどによって映像や文字を表示する情報・広告媒体のこと

- 現在，**令和3年4月頃**から放映開始できるよう準備しています。

《参考》＜デジタルサイネージ放映場所(予定)＞

- ・柏駅東口・西口
- ・市役所ロビー内

- ・二番街・柏の葉キャンパス駅改札前
- ・京葉銀行（11支店）

など 5

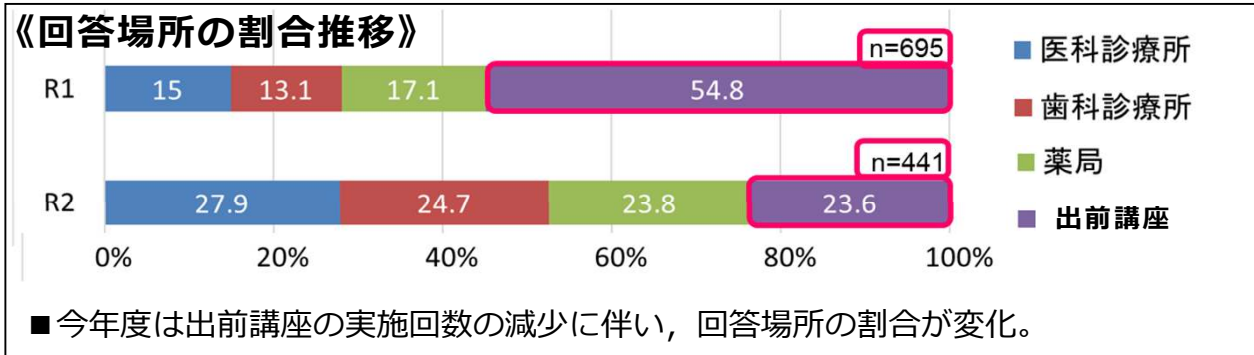
4. 令和2年度 在宅医療認知度アンケート報告

アンケートの実施に御協力いただきまして、ありがとうございました。



■ 在宅医療の認知度を把握するために毎年実施しています。

回答数 441件



アンケート概要	
実施期間	令和2年11月～12月 (出前講座は随時調査)
対象	市民 (医科診療所、歯科診療所、 薬局などの来訪者、 出前講座の参加者)

《結果 (サマリー)》

認知度を把握するための質問 ※「知っている」と答えた人の割合	R2【N=441】		R1【N=695】	
		医療機関, 出前講座別※		医療機関, 出前講座別※
Q1 通院が困難となった場合に在宅医療を利用できることを知っていますか?	62.6%	医療機関(59.2%) 出前講座(73.8%)	69.7%	医療機関 (63.8%) 出前講座 (74.3%)
Q2 在宅医療を利用したい場合、どこに相談したらよいか知っていますか?	39.4%	医療機関(33.2%) 出前講座(59.8%)	44.8%	医療機関 (33.6%) 出前講座 (53.8%)
Q3 柏市で年2回発行している、在宅医療情報紙「わがや」を知っていますか?	29.0%	医療機関(24.5%) 出前講座(41.3%)	35.2%	医療機関 (23.4%) 出前講座 (45.4%)

※各集団の中で「知っている」と答えた人の割合

■ 今年度は、認知度の比較的高い方が参加している出前講座でのアンケート回収数が減り、全体の認知度にも大きく影響した。

⇒結果的に今年度の調査結果は、市民全体の認知度に近い数値になったのではないかと推察。

⇒市民全体の認知度を一層把握するため、新たな調査方法（Web活用等）など検討。

5. 『オヤジ★イノベーション2021』での啓発活動

* 令和3年3月1日時点の内容です

現役世代へのアプローチとして、令和元年度より、部会員の皆様にもご意見をいただき企画してきました『オヤジ★イノベーション』との協働企画が、新型コロナウイルス感染症まん延に伴い、延期となっていました。感染収束の目途が立たないため、規模を縮小して開催することになり、**イベント内で在宅医療のPR活動を実施することになりました。**

■ 目的

これから介護を担う現役世代である市内で活動するオヤジたちのイベント『オヤジ☆イノベーション』にて、在宅医療をPRする。

■ 日時 **令和3年3月13日（土）13:00～**

■ 方法 **オンライン（Zoom・YouTube等）と会場（アミュゼ柏）のハイブリッド形式**

■ 内容 クイズなどに絡めて、柏市の取り組みを紹介

■ その他 JCOMの取材（参加）あり、パッパラー河合さんも参加予定



* オヤジ★イノベーションとは

柏市内の地域で活動するオヤジ達の活動紹介や、そこで活動する方たちと交流し、まだ地域活動に参加したことのない若い世代の男性や定年間近の男性に、活動へのきっかけを得ていただくために毎年開催している。企画・運営は、主旨に賛同して集まった市民有志による「オヤジ☆イノベーション実行委員会」

6. 次年度の啓発広報部会について

今年度の啓発・広報部会は書面開催になりました。

当面の間，新型コロナウイルス感染症の影響が想定されるため，様々な工夫を取り入れながら，できる範囲での活動を続けてまいります。

【R3年度 啓発・広報部会 第1回スケジュール(案)】

◎5月頃開催予定

【R3年度 啓発・広報部会 活動内容予定】

◎在宅医療情報紙「わがや」18・19号発行

◎啓発広報活動の**オンライン**活用

－デジタルサイネージによる啓発

－オンライン出前講座の実施

◎部会提案事業